

地域通貨（TR）運営委員会第8回会議レポート

1. 開催日時：平成24年2月17日（金）午後1時より2時30分まで

2. 場所：富岡市生涯学習センター・第2学習室にて

3. 出席者

宮澤展彦委員長・小川哲郎委員・高間弘文委員・長典男委員
浅川高広委員・時田由紀監査
林健太郎事務局長代行・・・以上7名

4. 欠席者

高橋忠宏副委員長・・・野菜セールの為
秋山昌律委員・・・仕事のため
小山涉一委員・・・店の都合のため
高間一幸委員・・・仕事の都合の為
富田顕剛委員・・・仕事の為
草場史子委員・・・仕事の為

5. 内容

- ① 司会進行・・・林事務局長代行
- ② 開会の挨拶・・・宮澤委員長
- ③ 会議（議長：宮澤委員長）

【組織変更】（前回の保留案件）

<可決事項>・・・高橋忠宏副委員長の委員（組織部会）兼務
高間弘文委員（組織部会）就任と事務局長兼務

議長が裁決を取ったところ、満場一致で可決しました。
内容は、参加者全員賛成、欠席者（書面手続き者）全員賛成でした。

【TR 試案に対する質疑応答】・・・担当：小川委員（企画部会）

・会議に入る前提として、地域通貨そのものに対する姿勢の確認が出席者全員になされました。（浅川委員の疑義に対する対応）
・企画部会の試案があくまでも暫定である旨の説明がなされました。（できるだけ意見を取り入れて行くという方針表明）
・カンラの換金性及び信頼度についてどう構築できるかの質疑応答が積極的になされました。（NPO甘楽トラストが主体）

6. 事務局より連絡事項

- ① 3月16日（金）・午後1時より午後2時30分まで・生涯学習センターにて
- ② 議題はTR試案の続編です。（都合によって変更もあります）

7. 閉会の挨拶

宮澤委員長

8. 所見

・・・地域通貨に対するそもそも論があったり、企画部会の試案に対する質疑が開始めたりなど、参加者が少ないにも関わらず充実した会議であったことは、今後の展開に充分期待が望めそうです。この高揚感を低下させないように、会議に出席できる人も事情があって出席できない人も全員で盛り上げていく姿勢が問われていることをしっかりと肝に銘じていこと思いました。又、会議の開催前に行われた宮澤委員長のショートトーク（富岡市の古代ロマン）が効を制し、全員の絆が少し強まった思い（まるでトラスティ・リング）がいたしました。

※このレポートは議事録ではありません。あくまでもホームページ用に作成したダイジェスト版であることをご理解下さい。